

陶器創作を通して交流「陶芸サークル一点舎」いってんしゃ



みんなでつくろう大船渡

市民活動の輪

第117回

市は、共に協働するまちづくりを目指しています。
このコーナーでは、大船渡市市民活動支援センターの協力のもと、市内の市民活動団体やイベント情報などを紹介しています。

「陶芸サークル一点舎」は、大船渡市社会福祉協議会が年1回開催していた陶芸教室の受講者が始めたサークルです。

現在の会員は35人。毎週火曜日の午前10時から、陶芸窯のあるY・Sセンター内で活動をしています。

■一点ものを作る

「陶芸は、同じものを作ろうとしても絶対に同じにならないところが面白いんです。サークル名どおり、まさに、作品は一点ものです。作陶が楽しいので人が集まり、腕を磨きながらもっと好きになって、皆さん長く続けています」と会長の新沼紀三さんは話します。

■創作で深まる交流

作り上げた作品は、市民芸術祭や気仙芸術祭に出品しています。

食器や花器だけでなく、皆さんが手掛ける作品はさまざまです。植物用の鉢や、すり鉢、花の写真からイメージが湧いたという繊細なオブジェや巨大な夢灯りもあります。互いに刺激し合いながら、作陶に没頭したり、皆さんと話してアイデアをもらったり、作品を褒め合い、陶芸を通して交流を深めています。

■陶芸に挑戦してみよう

「自分では失敗だと思って



「初めて陶芸をする人も大歓迎！」と笑顔で話す新沼会長

も、誰かが『すごくいい』と言ってくれたりするから、作品に失敗はないんです」と新沼さんは話します。入会したばかりの人は、分からないことを周りに聞きながら自由に創作していました。初心者には丁寧な指導を受けられるので、意欲があれば誰でも陶芸に挑戦できます。ぜひチャレンジしてみませんか？

春にはお花見をしたり、陶芸展を鑑賞する旅行に出掛けたり：初めて参加した人でも楽しめる、和気あいあいとした雰囲気、皆さんの居場所のようなサークルです。

▼問い合わせ先

一点舎 会長 新沼 紀三

(☎) 29・2566